

## 生涯スポーツ社会の実現に向けたスポーツ指導者の必要性について

○馬場宏輝（国際武道大学）

文部省が発表した「スポーツ振興基本計画（2009年）」では、スポーツ指導者が「量的に不足している」との指摘があるが、「スポーツ基本計画（2012年）」においては指導者の需要が把握できていないために「量的・質的な目標が明確ではない」との指摘もある。

各種の統計資料から明らかになったのは、日体協公認スポーツ指導者は週1回の運動・スポーツ実施者や総合型クラブ等で多く実施されている「ウォーキング」「種目が限定できない」「体操（ラジオ体操等）」に対応していない、競技人口と公認スポーツ指導者のバランス（指導者一人あたりの競技人口）は競技・種目間によって差が大きい、競技・種目としてのスポーツの多くは、成人の生涯スポーツではなく中学・高校の運動部活動で実施されている、などであり、競技別指導者が大半をしめる日体協公認スポーツ指導者が生涯スポーツ社会の実現（運動・スポーツ実施率の向上）に寄与できる可能性は低いといえる。